

「第 11 次新宿区交通安全計画」（素案）からの主な変更点

番号	頁	案(変更後)	素案(変更前)	変更事由
1	目次	文言修正 用語の解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53	用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53	計画書目次と本編の文言に齟齬があったため。
2	P10	表題修正 都内交通事故の死者総数に占める 65 歳以上の数	都内交通事故の死者数（高齢者）	適切な表現とするため。
3	P10	文言修正 こうした事故を防止するため、「新宿区通学路交通安全プログラム」に基づく、学校・警察・道路管理者など、関係機関と連携した通学路点検によるハード面での安全対策の実施や、学校での交通安全教室の開催や地域イベント等を通じた交通安全教育を充実させるなど、子どもの事故防止を図ります。	こうした事故を防止するため、学校・警察・道路管理者など、関係機関と連携した通学路点検によるハード面での安全対策の実施や、学校での交通安全教室の開催や地域イベント等を通じた交通安全教育を充実させるなど、子どもの事故防止を図ります。	明確に説明するため。
4	P11	表題修正 都内交通事故の死者総数に占める中学生以下の数	都内交通事故の死者数（子ども）	適切な表現とするため。
5	P40	注釈の削除 (1) 救助業務体制の充実 交通事故に起因する救助・救急活動を安全、迅速かつ適切に実施し、救命効率を高めるため、救急医療機関等との連携を強化し、交通救助・救急活動体制の更なる充実を図るとともに、現場における バイスタンダー による応急手当の実施により、救命効果の向上が期待できることから、 AED を含めた応急手当等の普及	(1) 救助業務体制の充実 交通事故に起因する救助・救急活動を安全、迅速かつ適切に実施し、救命効率を高めるため、救急医療機関等との連携を強化し、交通救助・救急活動体制の更なる充実を図るとともに、現場における バイスタンダー ^{※1} による応急手当の実施により、救命効果の向上が期待できることから、 自動体外除細動器（AED ^{※2} ） を含めた応急手当等の普及啓発を積極的に推進すると	「用語の解説」に別途記載があり、重複するため。 (参考) 用語の解説 バイスタンダー：救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）をいう。

		啓発を積極的に推進するとともに、近隣署間の部隊の連携においても精強な救助活動体制を確立します。	ともに、近隣署間の部隊の連携においても精強な救助活動体制を確立します。 ※1 バイスタンダー その場に居合わせた人 ※2 A E D Automated External Defibrillator の略で自動体外式除細動器のこと。	A E D : Automated External Defibrillator (自動体外式除細動器) の略で、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態 (心室細動) になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器をいう。
6	P53	用語の追加・修正 (略) 高齢者 <u>本計画において、65 歳以上の人をいう。</u> 子ども <u>本計画において、0 歳から中学生までの人をいう。</u> (中略) 若年層 <u>本計画において、中学校卒業後から 25 歳未満の年齢層の人をいう。</u> (中略) 成年層 <u>本計画において、25 歳から 65 歳未満の年齢層の人をいう。</u>	(略) (新設) (新設) (中略) 若年層 中学校卒業後から 25 歳未満<u>まで</u>の年齢層の人をいう。 (中略) 成年層 25 歳から 65 歳未満<u>まで</u>の年齢層の人をいう。	用語を明確に定義するため。
7	概要版 P1	文言修正 第 1 部 総論 (P3～) 計画策定の考え方・交通事故等の状況・交通安全<u>施策</u>の方向 等	第 1 部 総論 (P3～) 計画策定の考え方・交通事故等の状況・交通安全<u>計画</u>の方向 等	概要版と計画書の文言に齟齬があったため。